

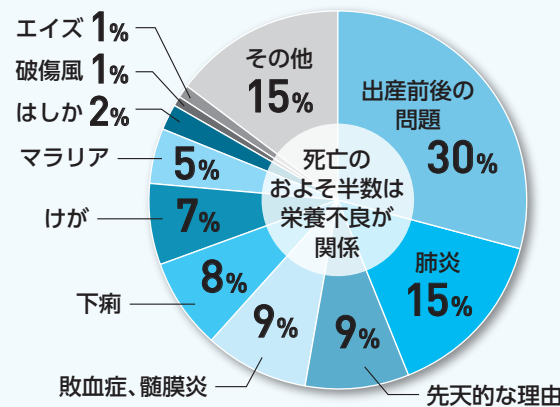
# 世界の子どもたちは、いま

生まれた国や地域によって、さまざまな危機や困難に直面している子どもたちがいます。

## 数字で見る世界の子どもたち

5歳をむかえる前に命を失う子どもは年間**530万人**<sup>\*1</sup>

子どもたちが命を失う原因<sup>\*1</sup>



予防や治療ができる原因で多くの子どもたちが命をうしていることがわかります。

世界の5歳未満児の**21.9%**

1億4,900万人の5歳未満の子どもが、栄養が足りず発育が阻害されている<sup>\*2</sup>

児童労働を強いられている5～17歳の子どもは、世界で**1億5,200万人**<sup>\*3</sup>



バングラデシュ。14歳のナシルくんは人力車の運転手。「ぼくの家族はとても貧しいので、家族を養うために働かないといけない」(2019年12月撮影)  
© UNICEF/UNI252566/Modola

小学校就学年齢にもかかわらず小学校に通っていない子どもの数は、世界で**5,900万人**<sup>\*4</sup>



スーダン。7歳のイスラちゃん。「制服も買えないし、学費も払えないから、学校へは行かないの。弟たちとおいさんのお世話もしないといけないから」(2019年11月撮影)  
© UNICEF/UNI236007/Noorani

### ヨーロッパにおける難民・移民危機

2019年1月～9月上旬の間で、5万7,000人の難民・移民がヨーロッパに到着し、その4人にひとりが子ども。難民・移民の子どもたち、特に単独で移動をしている女の子・男の子は、性的暴力を含む虐待や搾取にあうリスクが高い。

### ベネズエラ危機

ベネズエラでは、前例のないほどの社会経済・政治危機により、国内では約700万人が人道支援を必要としている。2020年には、ベネズエラをはじめラテンアメリカ・カリブ海地域において、子ども190万人を含む650万人が支援を必要とすると見込まれている。



コロンビア。ベネズエラとの国境近くの町のサッカー場。無償で提供される昼食に並ぶベネズエラの移民たち。(2019年4月撮影)  
© UNICEF/UN0310030/Arcos

池や川の水(地表水)を未処理のまま使わざるを得ない人は世界で**1億4,400万人**<sup>\*5</sup>



ソマリア。生活用水として川の水をくむ人々。汚れた水が原因で起こる腸チフス、コレラなどの病気によって栄養不良になると、命を落とす危険性も高まります。(2019年4月撮影)  
© UNICEF/UN0307520/Knowles-Coursin

## 危機下の子どもたち

### ウクライナ

ウクライナ東部では、子ども43万人を含む340万人の人々が、5年続く紛争の矢面に立たされ、心と体の健康を蝕む直接的な脅威と、基本的なサービスへのアクセスの制限に苦しんでいる。



武力紛争が始まり、多くの人が町を去りました。アレクシさんの学校は再開しましたが、生徒は4人しかいません。砲撃が始まると、学校は避難所にもなります。(2019年5月撮影)  
© UNICEF/UN0312572/Filippov

### シリアと周辺国

紛争が8年続く中、事態の深刻さ、複雑さは増し、支援の規模は依然として広範囲に及んでいる。シリアの人口の半数以上に当たる約1,100万人が人道支援を必要としている。トルコやレバノン、ヨルダン、イラク、エジプトなどの周辺国では、子ども250万人以上を含む560万人が難民として登録されている。



トラックの荷台に乗る子どもたち。シリア南部で激化した紛争から逃れるために多くの家族が移動しています。(2020年1月撮影) © UNICEF/UNI286348/Abdoul

### アフガニスタン

アフガニスタンでは、紛争、自然災害、貧困により、支援の必要性が高まっている。2020年、940万人(そのうち54%が子ども)が人道支援と保護を必要とするとみられている。

### 朝鮮民主主義人民共和国

北朝鮮の人道状況は、慢性的な食料不足、命を守る基本的なサービスへのアクセスの欠如、もっとも弱い立場に置かれた人々への深刻な影響が特徴としてみられる。人口の3分の1以上が、安全な飲み水を利用できない。

### ロヒンギャ難民危機(バングラデシュ、ミャンマー)

ミャンマーから逃れ、バングラデシュのコックスバザールで受け入れられたロヒンギャ難民の数は、2019年9月までに91万人以上にのぼり、そのうち73万人は2年以上この地での生活を余儀なくされている。ミャンマーでは、ロヒンギャの子どもや家族は非常に弱い立場に置かれ、約90万5,000人が保護を必要としている。



プロサッカー選手で日本ユニセフ協会大使の長谷部誠さん。60万人ものロヒンギャの人々が暮らす世界最大の難民キャンプを訪問しました。(2019年6月撮影)  
© UNICEF/UN0319108/Chakma  
巻末DVD「長谷部誠大使 ロヒンギャ難民キャンプ訪問」

### イエメン

紛争勃発から5年が経過する中、イエメンにおける人道危機は世界最大の緊急事態であり、2,400万人以上が人道支援を必要としている。約360万人が国内避難を余儀なくされ、5歳未満の子ども36万8,000人以上が重度の急性栄養不良に苦しんでいる。



空爆によって破壊された家の前に座るイエメンの子どもたち。(2019年7月撮影) © UNICEF/UNI220712/Romenzi

### 中央サヘル地域(ブルキナファソ、マリ、ニジェール)

中央サヘル地域における不安定な状況と暴力の蔓延によって、人々が自宅を追われる強制移住と人道危機が前例のないほど深刻になっている。5歳未満の子どもたち72万1,000人が重度の急性栄養不良のリスクにさらされている。

暴力によって閉校となった学校はこの3年間で6倍に増加。3,000校以上が閉校し、子ども61万人と教師1万5,000人が影響を受けている。

ニジェールの保健センターで診察を受ける女の子。上腕の周囲は10cmしかなく、重度の急性栄養不良と診断されました。  
© UNICEF/UN0317914/Frank Dejongh



注:この地図は国境を正確にあらわしたものではありません。また、国や領土・国境の法的地位についてのユニセフの立場を示すものではありません。

出典: Humanitarian Action for Children 2020(Overview), UNICEF

\*1 Levels and Trends in Child Mortality 2019

\*2 UNICEF-WHO-The World Bank Joint Child Malnutrition Estimates-2019 edition

\*3 ILO, Global Estimates of Child Labour - RESULTS AND TRENDS, 2012-2016

\*4 UNESCO, New Methodology Shows 258 Million Children, Adolescents and Youth Are Out of School (2019)

\*5 WHO/UNICEF JMP (2019), Progress on household drinking water, sanitation and hygiene 2000-2017. Special focus on inequalities